昭和49年5月1日第三種郵便物認可

静岡ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

11月1日土曜日
昭和50年（1975年）

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67-1970清水ゴール
編集専用電話66-5282(代)

毎月1回1日発行　1部20円

PEPSI

第八回清水市小学生サッカーリーグ
王座決定戦 黄金像は庵原に！

清水サッカー協会主催、第八回清水市小学生サッカーリーグの王座決定戦は、十月十日清水一中と辻小のグランドで行われ、各部門の王座が決まった。優勝チームには優勝旗、黄金像のトロフィーと読売新聞社杯、丸井清水店寄贈の賞品が贈られた。

本年度の特色は代表チームに二種目送っていることがなく、サッカーの広さを思わせた。

女子は入江、中河内四年浜田、袖師、五年有度一、辻、六年庵原不二見とそれぞれリーグチャンピオンが一定の少年団にかたよらずしかも全勝で勝ち抜いたのは不二見だけ。

一つまちがえれば四位になりかねない実力差のないリーグといえる。

女子　長い間チャンピオンの座にあった中河内が入江のするどいプレーに圧倒され5対0の大差となった。

杉山勝四郎コーチによく指導され、はつらつとしたプレーが目立った。県大会招待も夢ではないだろう。

四年　浜田、袖師ともに初優勝とあって両チームの指導者はもちろん育成会員も応援に必死。しかし西部リーグで苦しみ抜いて優勝した浜田に最後のねばりがあり3対1の結果に終わった。

両チームともや、型にはまったサッカーをやっており今後の成長が気にかかるが、初優勝した機会に今一度少年サッカーの原点に帰る必要があるだろう。

パワーオンリー、パターンにおぼれていてはいけないだろう。

五年　全清水五年の中心をもつ辻と、四年1Cチャンピオンの有度一は二度目の対戦。試合は終始辻の押しぎみのゲーム。

有度一も西部リーグで見せたうまいサッカーの出ないうちに辻の青島に得点され、浮き足立って王座を守ることができなかった。

一方辻は有度一エースをぴったりマークしバックがオーバーラップして攻撃する余裕さえでき完勝だった。

六年　久びさの王座に出場の庵原はたちあがり不二見望月の好リードに一点取られたが柴田がすぐにかえし、後半は一方的に攻め3対1。不二見は望月一人でディフェンスからオフィエンスにまわりたよりすぎた。

一方庵原は滝の成長がいちだんとしく、柴田とうまくかみ合い勝利に導いた。

▲写真は6年優勝の庵原チーム

少年サッカーとチームプレー
最後まで自分が責任をもて

大人の世界に多い人の足を引っぱる人種は特に日本人に多いという話を先日聞いたが、たしかにスポーツの中でも一生県命やっている者の足を引っぱる人が意外と多い。

人間には確かに他人の悪口をいって自分の立場を良くしようとする気持ちがあるらしい。

子どもの世界でも自分が教わっている先生を中学生のころは呼びすてやアダ名で呼ぶが高校生くらいになるとさん呼びにする。大学生になると君呼びするのにはあきれる。

これは心理学的にいってその人間と同等と思いたい潜在意識の中から生まれてくる言葉であって、特に劣等感の強い人間ほど多い。

学校の先生の中にも子どもの前で同じ先生を呼びすてにしていることを見かけることがあるが、決してよい気持ちはしない。たとえ先輩であっても子どもの前においては先生である。どんなに若くても個人の人間性は尊重されなければならない。

これらのまちがった先輩意識や仲間意識は小さいときに打ち破らなければならない。特に子どもをしかったとき、子どもは罪を軽くしようと同級生も一緒だったとさかんに自分の罪をそっちのけにして他人の罪をあばく場面があるが、私は「ぼくがやりましたが○○君も前にやりました。」という自分の事の反省をスポーツで育てたいものです。

自分の言ったこと、書いたこと、行ったことは自分の意志でやったといいきり、その責任は自分でとれる人間と思う。

自分の行ったことは自分が責任をもつ人間こそ、チームワークの中で生きていく人間だ。

この行為を許してはいけない。

なこの話でごまかそうとするるこ

（哲）

PEPSI

第6回東海四県少年大会
県予選の組み合わせ決まる！

第一回より連続出場の清水、藤枝を中心に八地区八チームによって行われる県予選会は今年は十一月九日沼津市を会場に行われるが十月四日その組合わせが発表された。

中央大会は愛知県青少年センターで今年も行われるが、過去一、二、五回を清水、三回大会を藤枝、四回大会は四日市と、静岡県勢が上位を常に占めており本年も期待される。

なお清水の選手トレーニングは毎週土曜七時より堀田総監督のもと全清水指導者の研修もかねて行われている。

第6回東海四県少年サッカー大会組み合わせ

☆決勝は11月16日市営29日30日中央大会へ一、二位は

ヤマハ初優勝！清水クラブは2位

県社会人サッカーリーグは十月十九日最終節を行い今シーズンの順位が決まった。一部はヤマハが最終戦は引き分けたが無敗で全日程を終了、一部リーグ入りと同時の初優勝を手中にした。二位は一部昇格の清水クラブが十勝二敗三分の健闘でヤマハと共に東海リーグに挑戦することになった。二部リーグではやまき屋が優勝、クラベ電機が二位、スター精密は三位になった。一部十五位の鋼管清水と十六位のFC浜松と二部やまき屋、クラベとの入れ替え戦は今月中旬に行われる予定。成績は次の通り。

【県リーグ一部】

1位	ヤマハ
2位	清水クラブ
3位	志太クラブ
4位	芙蓉クラブ
5位	藤枝市役所
6位	ポーラ化成
7位	藤枝紫クラブ
8位	本田浜友会
9位	静岡ガス
10位	藤北クラブ
11位	矢崎計器
12位	東芝富士
13位	沼津アーセナル
14位	しろがねクラブ
15位	鋼管清水
16位	FC浜松

清水クラブ ヤマハと引分け

県一最終リーグにふさわしい好試合が展開された。清水クラブ前半二十分、左ハーフ栗田より糠谷へのタテパスを見事なドリブルシュートで先取点を決める。

清水クラブ再々のピンチをキーパー沢野の好守備によってふせぐ。

後半も一進一退の試合運びであったがゴール前混戦より一点を許したが、見ごたえのある試合で1対1の星の分け合いで時間切れ。

これに自信をつけた清水クは十一月八、九日の天皇杯東海大会の期待が充分持て、サッカーファンの皆様へ良い報告ができることと思います。

徳竹

全員集合！ 全国OB交歓試合

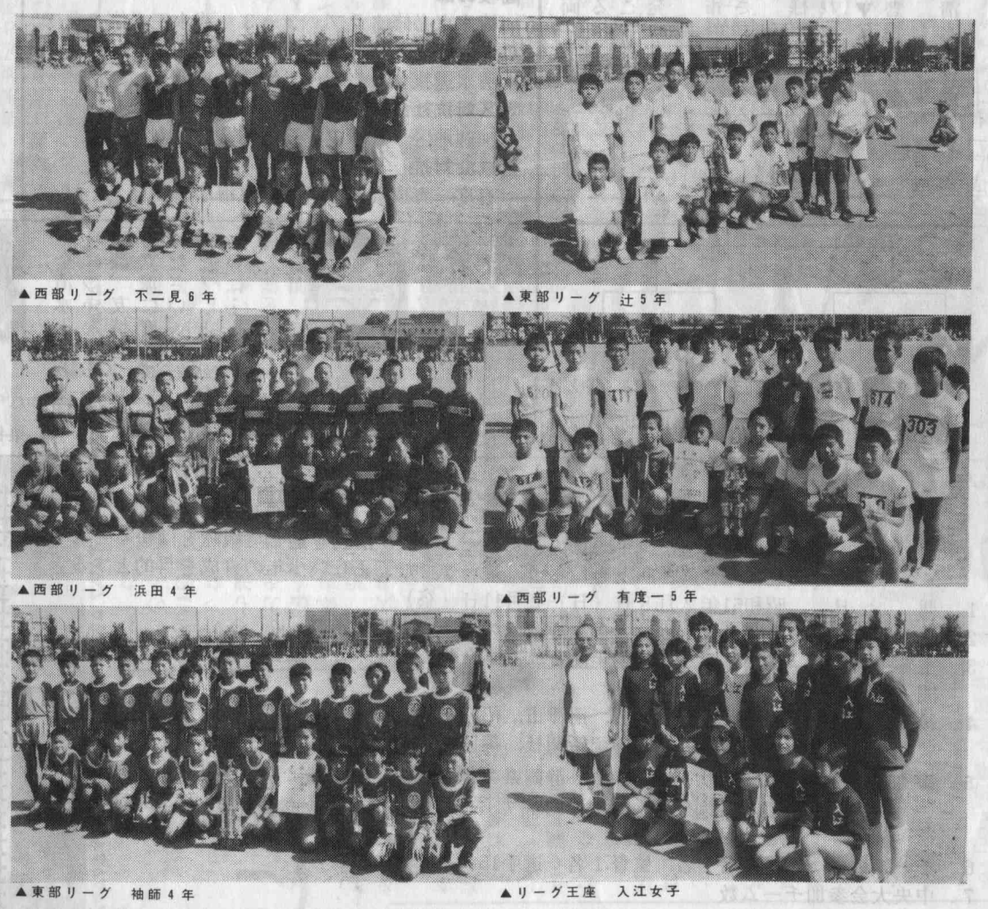
十一月二十二日、二十三日を四十才以上のサッカーマンは今からたのしみにしている。

全清水OBチーム（代表者中村祐介氏）も先日の市民大会で代表選手が決定、トレーニングにはげんでいる。

第一回神戸大会では熊本の老人チームに見事やられ、今年こそはと老体にムチ打ってがんばっているが結果はいかに……？

この会の会長の加藤さん（神戸フットボールクラブ）も『ゲーム第二、友交第一、健康は特別』とこの大会をもりあげてくれているが、OBとはいえなかなかの若者（気持だけ）の出現が多く、ハッスルゲームが展開される。

そこで今回から優勝を決めないで勝利賞だけつくることになった。年はとっても勝ちたいですね！今回行われる大会は三十五才以上のもの。全清水OBがんばれ！



▲西部リーグ　不二見6年
▲東部リーグ　辻5年
▲西部リーグ　浜田4年
▲西部リーグ　有度一5年
▲東部リーグ　袖師4年
▲リーグ王座　入江女子

PEPSI

第30回国民体育大会
静岡高校選抜 優勝成るか！

第三十回国民体育大会は三重県を中心に、来る十月二十六日より三十一日まで行われる。

本県サッカーは男子の一般の部、教員の部ともに東海四県の予選で敗れ、少年男子（高校生）に総ての期待がかけられている。

昭和四十五年の岩手大会より選抜方式になって以来、過去五年間に三回優勝という輝やかしい実績を残しているだけに、本年もその活躍が期待されている。

本年は静岡工、清水東の両チームで十名という編成で、チームワークをとりやすいという点では特色あるメンバー構成であるが、逆にチームのリズムが狂うと、二回戦大阪、三回戦山梨と広島の勝者準決勝東京など強敵が目白押しなので楽観は許されない。

しかし来るべき全国高校サッカー選手権大会で、静岡県のチームが勝つためにはこの国体で優勝し、サッカー王国の面目と意地を示さなければならないだろう。

選手諸君と指導陣の健闘を期待したい。

○宿舎は上野市紺屋町「田村屋」。

（勝沢）

市民必修クラブの部 大一会 に参加できて

清水東高サッカークラブ二年　堀　晶彦

今日の試合ほどサッカーのチームプレーの重要さを感じさせられたことは今までにありませんでした。

前半に出場した二年生はつい自分の個人技に走り、ボールを持ちすぎたところを相手バックスにカットされてしまう。悪夢を見ているような30分でした。

「サッカーはパスのゲームである」という言葉が身にしみてきます。

しかし後半に出場した一年生は、実に早い玉ばなれと確実なパスで、みごとな試合を行いました。

その一年生たちの気迫1対2の劣勢を何とかひっくり返そうという執念が、相手の清水工業高校の三年生を相手に2対1と同点に追いつく結果を生んだのだと思います。

この大会には全員が出場しようという目標で一人15分ずつという短かい時間のプレーが中心でしたが、それぞれが短かい時間の中で「自分の最高のプレーを！」と努力している姿がありました。

そしてその結果みんなでサッカーを考え、チームプレーのことを考え、そしてみんなの手で得た〝優勝〟一年生と二年生との壁、学年の壁がおこりやすい。

高校運動部の中で、上級生下級生が手を取り合ってスポーツをやっていける、なんてすばらしいことでしょう。

今日の一日は、たった週に一度のサッカーの中では得られないような素晴らしいことを学べたと思うし、サッカーというスポーツの素晴らしさを再発見したような気分です。

これをきっかけに、金曜の必修クラブもより充実したものになっていくでしょう。

みんな本当にありがとう。

只今発売中
ユースサッカー縮刷版
清水サッカーの歴史を綴る！
創刊号より第32号
B4版表紙共68頁
¥1,000
郵送の場合は送料共一、二〇〇円
現金書留にてお送りください
静岡県清水市真砂町1－12読売新聞内
ユースサッカー縮刷版編集部
〒424　電話0543（66）5282

編集ノート

注目の全国高校選手権大会県予選は、三重国体の開幕で中断、八日からリーグ戦の第二戦に入る◆少年サッカーリーグ戦は十月十日閉幕。育成会の応援も盛んで王座決定戦を盛り上げていた。優勝したチームにも、惜しくも敗れたチームにも大きな拍手をおくりたい◆横浜の友人から便りがあった、来年は定年だが、ぜいたくを言わなければ失業しない自信はあるが、来年大学を出るせがれの就職に参っている。本人はどうにかなるさと呑気だが、親の方は好きな酒もうまく呑めなくて閉口している。こんな手紙の返事に、君のせがれは出来が良いから心配ないよ、と書いてはみたが出しそびれているのは、週刊誌の読み過ぎかもしれない◆暦の上では晩秋だが駿河路の秋は盛りで、燈下の酒もひとしお旨くなってきた。（二本木）

全清水6年特別表彰！

前会長栗田氏に特別功労賞！

本年全国サッカー少年団大会優勝、ヨーロッパでも五戦全勝で活躍した全清水六年は十月十二日市民体育大会で特別表彰を受けた。

表彰されたのは小花監督以下十七名の六年生選手。

胸にかがやくメダルは特別づくりのフリーキックをデザインしたもの。今夏二十二戦して京都に一敗をしたものの、全ての少年タイトルを手中にしたチームだけに一段とたくましく見えた。

東海大会、清水招待、刈谷招待、岐阜招待、藤枝JCとまだいくつかのタイトルのかかったゲームがあるだけに日本の少年の見本として今後もグッドゲームを推進してもらいたい。

なお同時に、前会長栗田順作氏も特別功労賞で表彰された。

ヨーロッパ遠征記録 ③

我々は勝ちに来た

総監督　堀田哲爾

ロンドンで一日休養をとり、八月二日ケルン空港に着いた我々一行は、金髪のふさふさした見るからに精かんな少年の歓迎を受けた。

そして六人のドイツサッカー協会の役員と新聞記者の出迎えを受けた。

「あなたがたはドイツに何をしに来ましたか」とまず質問された時「私たちは勝ちに来ました」と胸を張った。

今だからこの言葉は何も不安はないが、ワールドカップチャンピオン国に胸をかりるつもりで来て何となまいきなことをいう日本人だと思われたであろう。

そしてその後は協会長のベッカー氏を通訳としてビクトリア04チームのコーチと明日の試合のルールについて打ち合わせ、またおどろいた。

ドイツ側から出されたゲームの条件は①ボールは5号ボールを使うこと（大人と同じボール）②グランドも大きな大人用グランドで行う③試合時間は30分ハーフで行う

この三つの条件であった。

私はその一つ一つになぜ小さな少年時に無理のあるむずかしいことをさせるのかと質問をした。

するとその答えは日本人には理解できない答が返ってきた。

まずボールは大きくして、子どもにただ大きく蹴ることだけ教えたくない。

二つ目のグランドの広さは個々のプレーが自由にできるように広いほうがいい。

三つ目の試合時間はゲーム時間が長ければスピードだけの勝負に終わらなくて良いという条件のものであった。

ドイツに来たらドイツのルールにしたがいましょうと、このルールによってゲームをすることを約束し会談は終わった。

このあと私はもし日本でこのルールをもっていったら、5号ボールでも遠くにけれるキック力をつけてしまうし、広くても動きまわれる体力をつけてしまうし、30分持ちつづける持久力をもつけてしまうだろうと身ぶるいした。

自然の中で行うサッカーゲーム、ドイツの大人が考えている少年サッカー、いや少年への思いやりを深く感じたとともに、明日からはじまるゲームへの不安はかくしきれなかった。

（つづく）

高校サッカー選手権大会

清水東 藤枝東 順当に完勝！

昭和五十年度全国高校サッカー選手権大会県予選は十月十二日より、ブロック別のリーグ戦に入り、八試合が行われた。第一シード校の清水東　静岡工、藤枝東、浜名の四校は順当に勝ち、第二シード校では静岡学園、東海大一が完勝で第一戦の相手を破った。リーグ戦の第二戦は十一月八日、第三戦は九日に清水東、清水商、藤枝北、静岡高の四校グランドで行われる。

第二次トーナメントは別表の通り、十一月十六日より行われる。

【リーグ戦成績】

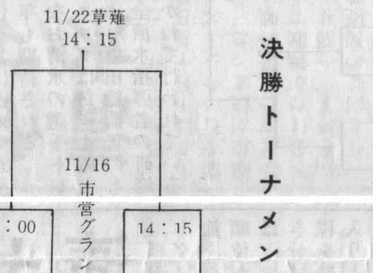
▼Aブロック
清水東　3―0　清水工業
一勝
静岡学園　6―0　浜松湖東
一勝
静岡工業　1―0　浜松西
一勝
興誠　4―2　静岡市立
一勝

▼Bブロック
藤枝東　5―1　焼津水産
一勝
藤枝北　1―0　清水商業
一勝

▼Cブロック
浜名　8―0　焼津中央
一勝
東海大一　3―0　日大三島
一勝

▼Dブロック
静岡工業　1―0　静岡市立
一勝
東海大一　3―0　日大三島
一勝

決勝トーナメント



清水市民大会

育成会対抗試合

特に有度一はトレーニングの結果がよく出て、一回戦不二見を8対0、二回戦入江を3対0、準決では飯田を5対0で破り初優勝しゴール杯と市民大会メダルを手中にした。

本大会では清水市サッカーの育成に力を入れ、現在二世がサッカーをプレーしている親が中心となって出場したが、庵原の池田昌一氏や飯田の望月氏、佐藤大吉氏が出場するなど今までにない大反響があった。

この大会は今後も続くであろうが一中、清水小、高部小を中心に育成会ナイターリーグの話題も出ており今後の計画がたのしみである。

地区別対抗戦は今年六年目をむかえ袖師地区が四年ぶり二度目の優勝を飾ったが、今年からはじまった少年育成会大会は実に十七チームが参加して行われ一回戦から熱戦を展開した。

本大会は特に熱心だった三保一地区、小島地区、有度一地区、東海小、清水地区と連日の練習による成果はゲームに充分発揮された。

育成会 父親チームに入って

小学校三年になる息子がサッカー部に入っている関係もあって今年の夏、有度一小父親チームに入って練習を始めた。

日頃、体力づくりのため何かスポーツをやらねばと思ってはいたが、最初誘われた時は不安がいっぱいで、あの激しいスポーツが今になってできるだろうか、また有度一小父親チームは強いと聞けば尚更だった。

しかしあれこれの心配も柔らいだ。月、水金の夜の練習を重ねたびにチームの仲間とも親しくなり、会話を交すうち自分より年配の四十代が大半であったこと。また野球その他あらゆるスポーツを経験したがサッカーは始めてという連中がボールを追い蹴って楽しくやっていることだった。

私はすばらしい仲間を得たことと同時に、二十数年前とはいえ少々経験のある自分に再びサッカーの魅力をとり戻してくれた喜びは言葉では表現し難いものを感ずるのである。

健康作りを主にしたわれわれ素人仲間の多い有度一チームの中にも幸い三～四人の強力メンバーに恵まれ市民大会に優勝することが出来たのも日頃の練習と、先生がたや子どもたちの指導の賜ではなかったかと思う。

私にとって忘れることの出来ない今年の体育の日だった。

（有度一　堤　貞夫）

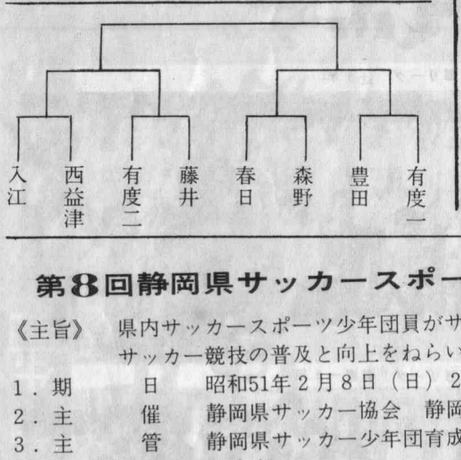
有度一小 創立100年 招待サッカー

有度一百年記念招待サッカー大会は十一月三日有度一小、入江小両グランドで開催されるはこびとなったが、この度その組合わせが発表された。

県外からも三チーム市外から二チーム招待され行われる。

なお父親チームも同様招待され二試合行われることになっている。

▼父親チーム
豊田クラブ
――有一育成会
清水小育成会
――有一育成会



清水市民体育大会各部門試合結果

チャイルドの部	A	0－0	B	
女子の部	入江	5－0	中河内	
4年の部	浜田	3－1	袖師	
5年の部	辻	2－0	有度一	
6年の部	庵原	3－1	不二見	
中学の部	全清水中2A	1－0	〃B	
高校の部				
清水東必修クラブ		3－3	清水工必修クラブ	
OBの部				
清水選抜OB		4－1	清水東OB	
地区対抗社会人				
袖師地区		3－1	三保地区	
育成会対抗				
有度一育成会		3－0	東海小育成会	

PEPSI

先輩から全清水後輩へ一言！

今年全清水中三は二十戦して十八勝二分けで全日程を終了し高校進学に力を入れているが、小学生時代から六年間全清水で学んだ技術、戦術はもちろん、人間性も高く評価されている。

これらの人々の先輩としての声を次の世代への伝達として、一言ずつインタビューしてみた。

庵原中
滝　孝之

サッカーのきびしい練習をまじめに忠実にやれば、必らず何かやっただけのことがあります。がんばれ！

七中
大塩　栄次

ぼくは思う、自分のプレーをより良くするには自分に厳しく、人の倍練習をする。そのためには『自分に勝つ』ことだと思う。

七中
森　守

庵原中
三田　達治

練習でいやになっても、最後まで続ければ結局は良い思い出が残ると思います。

八中
桑原由紀夫

オール清水としての誇りを持ち、今後きびしい練習や試合に臨みサッカーレベルの向上にはげんでほしい。

八中
渡辺　一男

中学校のサッカーは君たち二年生が中心となってやっていくことになりました。最後まで精いっぱいがんばってください。

八中
栗田　政之

全清水という集団で身についたいろいろな知識、友情をこれからも立派に育てていってください。「流石、全清水だ！」といわれるくらいに……。

興津中
望月　満

努力、根性をいつも心に持ち、サッカー、学習などお互いにがんばろう。

後輩の皆さん、今日まで全清水が辿って来たすばらしい伝統をこれからもずっと守り通してください。

清水東 藤枝東 順当に完勝！ 浜名

『世界の若者たち』

岡野俊一郎氏　清水工高で講演

日本サッカー協会技術委員岡野俊一郎氏が清水工業高校創立十五周年記念講演会に来清する。

世界各地をまわり元全日本監督としても活躍した岡野氏の話は高校生の心をとらえるものと思われる。

講演は十一月八日、県立清水工業高校体育館。

第8回静岡県サッカースポーツ少年団大会要項（ペプシ杯）

《主旨》　県内サッカースポーツ少年団員がサッカースポーツ活動を通じて親睦をはかるとともにサッカー競技の普及と向上をねらい，あわせてたくましい少年の育成を目的とする。

1．期　　日　昭和51年2月8日（日）2月11日（祭）
2．主　　催　静岡県サッカー協会　静岡県スポーツ少年団本部
3．主　　管　静岡県サッカー少年団育成協議会　沼津サッカー協会
　開 催 地　沼津市
4．後　　援　静岡県教育委員会，沼津市，沼津市教育委員会，沼津市体育協会，ペプシコーラ，静岡新聞社，静岡放送
5．参加資格　静岡県サッカー協会，静岡県スポーツ少年団本部に登録されている単位少年団で（選抜をふくむ）静岡県サッカー少年団育成協議会支部主催の地区予選を経たチームとする。
6．チーム編成　代表者1名　監督1名　選手15名　計17名
7．中央大会参加チーム数　10～12才（小学生）16チーム，13～15才（中学生）16チームとし，原則的に地元チームを加える。また不参加のチームがあった場合，開催地区チームを補充する。決勝戦に女子2チームを招待する。
8．試合方法　トーナメント方式で行い，細則はサッカー少年団育成協議会にて決定するが，3位決定戦は行わない。
9．使用球　公認少年皮ばり4号使用（タチカラ）同中学は5号とする。
10．参加料　予選出場から中央大会をふくめて 2,000円とする。ただし育成会未加入団体の参加する場合，参加料は10,000円とする。
11．参加章　中央大会出場者全員に参加章をあたえ，参加チームは参加記念証をペプシコーラより授与する。
12．表　　彰　優勝チームには賞状並びに優勝旗（持廻り），優勝カップ（ペプシ杯），優勝者には記念メダルを授与する。準優勝，三位チームも表彰する。
13．申し込み　予選参加希望チームは所定の申し込み用紙にメンバーを記入した上，各支部の責任者に11月25日までに提出。最終中央大会参加申し込みは各支部責任者が1月10日までに本部にチームの写真，メンバー表ともに提出，当日までに申し込みのないものは不参加として補充の作業に入る。

'74 ワールドカップ報告 FIFA Ⅳ

ノックアウト方式では本大会では32試合行うことになり，第1ラウンドでの4グループで24試合（4グループ各6試合）プラス準々決勝4，準決勝2，決勝，3位決定戦である。

リーグ方式では西ドイツで初めて使われ38試合行った。24試合が第1ラウンドの4グループの試合，12試合が第2ラウンドの試合（2グループ各6試合）そして2試合（決勝，3位決定戦）である。

だから1974年の大会で最後に残った4チームは，1970年より1試合多く試合をしたことになった。

西ドイツの大会はメキシコ大会より期間は3日永くかかった。ヨーロッパでは，特にこの大会期間の長さについて反対があり，その主な理由はそれぞれの国内の長いシーズンのあとプレーヤーがすでに疲労していることにあった。このことは他のいくつかのケースにも現れる事情であった。

フランクフルトでのFIFAコングレスでは，1978年アルゼンチン大会は20チームにすることが決定された。もし20チームが参加したら大会の試合数は増加し，1974年の大会方式を採用するとしたら5チームの4グループが第1ラウンドで40試合，第2ラウンド12試合，それに決勝，3位決定戦の54試合となる。

ノックアウト方式を採用すると第1ラウンド40試合，準々決勝4試合，準決2試合，決勝，3位決定と合計48試合となる。

もし1974年と同じ方式を採用するとしたら決勝進出のチームは8試合行うことになり，1970年の6試合，1974年の7試合より試合数が増加することになる。

一般的にいってナショナルコーチたちは16チームで大会を行い，そのための予選はヨーロッパと南アメリカに対して，アフリカ，アジア，コーカサスの代表が戦うシステムがのぞまれる。もちろんホストカントリーは16チームに含まれるが前回優勝国は普通どおりの予選に参加すべきであろう。

そしてもし可能ならば同グループの他の2試合の結果を知ることはあとの試合のチーム作戦に決定的な影響を与えるので，ファイナル大会での各グループの試合は同時に行われるべきであり，そして試合の間隔は休息日を3～4日とるべきであり，いく人かのナショナルコーチは休息日が3日であることが適切であると考えているがドクターはプレイヤーの疲労回復と軽度の負傷の回復のために4日の休息日が必要であると主張している。